

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 商業 科目 ビジネス計算

教科： 商業 科目： ビジネス計算 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 B・C・E 組

使用教科書： （ なし ）

教科 商業 の目標：
【知 識 及 び 技 能】普通計算部門についての基礎的な知識を身に付け、より高度な技術を身に着ける
【思考力、判断力、表現力等】ビジネス計算部門についての基礎的な知識を身に付け、より高度な技術が身に着くような力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】学習内容を理解し、積極的に問題に取り組み、検定受験に向けて意欲的に取り組める力を養う。

科目 ビジネス計算 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
【知識・技術】全商ビジネス計算実務検定のうち、普通計算部門についての基礎的な知識を身に付け、より高度な技術が身に着くような力を養う。	【思考・判断・表現】全商ビジネス計算実務検定のうち、ビジネス計算部門についての基礎的な知識を身に付け、より高度な技術が身に着くような力を養う。	【主体的に学習に取り組む態度】学習内容を理解し、積極的に問題に取り組み、検定受験に向けて意欲的に取り組める力を養う。かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	年間授業のガイダンス 電卓の基本操作 普通計算の解法 ビジネス計算① 3級に準ずる計算 ビジネス計算② 3級に準ずる計算 ビジネス計算③ 手形割引の計算 ビジネス計算④ 仲立人を通した売買の計算	・電卓のそれぞれの機能の働きを理解し、より効率的に計算する。 メモリーの操作法を理解する。 ・計算結果の表示法、端数処理を理解する ・貨幣単位の違いによる表示方法と端数処理について理解する。 ・度量衡の計算について換算ができる ・単利法での利息の計算、元利合計の計算 ・割引日数、割引料、手取金の計算 ・売り主・買い主・仲立人の関係を理解しそれぞれにおける計算ができる	【知識・技術】全商ビジネス計算実務検定のうち、普通計算部門についての基礎的な知識を身に付け、より高度な技術が身に着くような力を養う。 【思考・判断・表現】全商ビジネス計算実務検定のうち、ビジネス計算部門についての基礎的な知識を身に付け、より高度な技術が身に着くような力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】学習内容を理解し、積極的に問題に取り組み、検定受験に向けて意欲的に取り組める力を養う。かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	10
	定期考査	・考査までに学習した全商ビジネス計算実務検定3級・2級の内容が確実に理解されたかどうかを確認する。		○	○	○	1
	ビジネス計算⑤ 仲立人を通した売買の計算 ビジネス計算⑥ 売買損益の計算 ビジネス計算⑦ 減価償却の計算 全商ビジネス計算実務検定試験の問題解説 ・期末考査対策	・売り主・買い主・仲立ち人の関係を理解する。 ・売り主の手取金額、買い主の支払金額、仲立人の手数料合計を求める計算のそれぞれにおける計算ができる ・代価の計算、建値の計算ができる ・諸掛込原価・利益額・総売上高を求める ・定価・値引額・利益額・売価を求めることができる。値引率・利益率を求めることができる。 ・定額法による減価償却計算表の見方、および減価償却計算表の作成ができる	【知識・技術】全商ビジネス計算実務検定のうち、普通計算部門についての基礎的な知識を身に付け、より高度な技術が身に着くような力を養う。 【思考・判断・表現】全商ビジネス計算実務検定のうち、ビジネス計算部門についての基礎的な知識を身に付け、より高度な技術が身に着くような力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】学習内容を理解し、積極的に問題に取り組み、検定受験に向けて意欲的に取り組める力を養う。かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	24
	定期考査	・考査及び検定までに学習した全商ビジネス計算実務検定2級の全内容が確実に理解されたかどうかを確認する。		○	○	○	1
	ビジネス計算⑧ 手形割引の計算その2 ビジネス計算⑨ 単利計算⑩ 積数法の仕組み ビジネス計算⑪ 仲立人手数料の計算 その2 ビジネス計算⑫ 福利終価・利息・福利現価の計算 ビジネス計算⑬ 端数期間がある場合の福利終価・福利現価の計算 ビジネス計算⑭ 減価償却の計算 その2	・割引料を求める、手取金を求める計算が理解できる。手形の一部金額に利息を付けない方法による割引料・手形金を求める。 ・利息から元金を求める。利率を求める。期間を求める ・積数法の計算法を理解し、利息合計・元利合計を求める計算ができる。 ・売り主の手取金、買い主の支払金額、仲立人の手数料合計、仲立人の手数料率を逆算して求める計算ができる。 ・複利終価の意味を理解し、1年1期または、半年1期における複利終価率表を用いた計算ができる。 ・複利現価の意味を理解し、1年1期または、半年1期における複利現価率表を用いた計算ができる。 ・端数期間がある場合の端数期間については単利計算を組み入れ	【知識・技術】全商ビジネス計算実務検定のうち、普通計算部門についての基礎的な知識を身に付け、より高度な技術が身に着くような力を養う。 【思考・判断・表現】全商ビジネス計算実務検定のうち、ビジネス計算部門についての基礎的な知識を身に付け、より高度な技術が身に着くような力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】学習内容を理解し、積極的に問題に取り組み、検定受験に向けて意欲的に取り組める力を養う。かつ協働的に取り組む態度を養う。				19

2 学 期		て、終価・現価の計算ができる。 ・定率法による減価償却計算表の見方、および減価償却計算表の作成ができ、その仕組みを理解できる。				
	定期考査	・考査までに学習した全商ビジネス計算実務検定1級の内容と普通計算が確実に理解されたかどうかを確認する。			1	
	・ビジネス計算⑮ 福利年金の計算 ビジネス計算⑯ 年賦金の計算 ビジネス計算⑰ 積立金の計算 ビジネス計算⑱ 売買損益の計算 ビジネス計算⑲ 株式の売買の計算 ビジネス計算⑳ 指値の計算	・年金の仕組みを理解し、複利年金終価表を用いて期末払い・期首払いの年金終価を求める計算、および複利現価表を用いて期末払い・期首払いの計算ができる。 ・負債を返済する場合の、每期一定の返済額を年賦金表から求めることができ、年賦償還表の作成ができる。 ・一定期間後に必要金額を得るための積立金を理解し、複利賦金表から積立金の計算と積立金表の作成ができる。				

3 学 期	ビジネス計算④ 単利最終利回りの計算 全商ビジネス計算実務検定1級ビジネス計算復習	成かである。 ・代価を求める、建値の計算が複雑に重なった問題について解答できる。 ・原価から売価。売価から定価を求める計算、利益額・値引額から原価を求める計算問題を解答できる。 ・株式の売り渡しの仕組みを理解し、株式の売渡金額の計算ができる。 ・株式の買い入れの仕組みを理解し、株式の買入代金の計算ができる。 ・株式の利回りの意味を理解し、希望利回りを達成するための指値の計算ができる。 ・利付債権、単利最終利回りの意味を理解し、同時に正確な計算ができる。 ・ポイントを絞り、それぞれの項目別問題について練習問題を通して、理解を深める。 ・全商ビジネス計算実務検定試験1級の内容の理解を確実なものとする。				21
	定期考査	・考査及び検定までに学習した全商ビジネス計算実務検定1級の全内容が確実に理解されたかどうかを確認する。				1
	・ビジネス計算② 財務分析の計算1 ビジネス計算③ 財務分析の計算2 ビジネス計算④ 財務分析の計算2 ビジネス計算⑤ 財務分析の計算3 ビジネス計算⑥ 財務分析の計算3 財務分析の計算⑦ 財務分析の計算4 学年末考査対策問題	・資産、負債、純資産、収益、費用について財務諸表上でのありかたを学び、理解する。 ・流動比率と当座比率の計算を理解し、資料を読みこなせるようにする。 ・資本比率と資本利益率の計算を理解し、資料を読みこなせるようにする。 ・売上原価率と売上総利益率・売上純利益率の計算を理解し、資料を読みこなせるようにする。 ・商品回転率と在庫日数計算を理解し、資料を読みこなせるようにする。 ・受取勘定回転率の計算を理解し、資料を読みこなせるようにする。 ・損益分岐点と売上高、営業利益率、目標利益額の意味を理解し、計算できるようにする。 ・財務分析の総復習とビジネス計算の総復習を行い、内容を理解する。 ・財務分析の問題と普通計算1級の問題について、確実に理解されたかどうかを確認する。 ・財務分析の総復習とビジネス計算の総復習を行い、内容を理解する。	【知識・技術】全商ビジネス計算実務検定のうち、普通計算部門についての基礎的な知識を身に付け、より高度な技術が身に着くような力を養う。 【思考・判断・表現】全商ビジネス計算実務検定のうち、ビジネス計算部門についての基礎的な知識を身に付け、より高度な技術が身に着くような力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】学習内容を理解し、積極的に問題に取り組み、検定受験に向けて意欲的に取り組める力を養う。かつ協働的に取り組む態度を養う。			26
	学年末考査	・財務分析の問題と普通計算1級の問題について、確実に理解されたかどうかを確認する				1
						合計 105